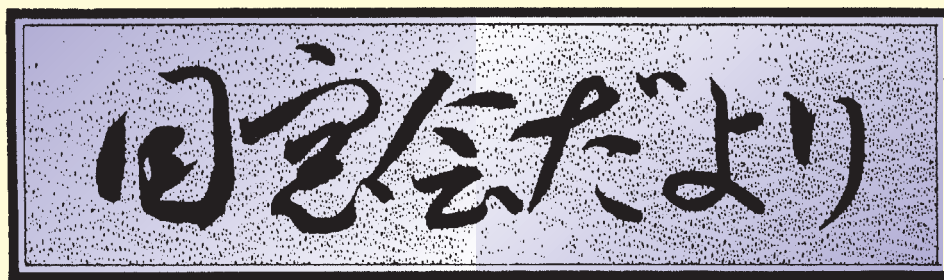


宮城県
第三高等
女学校
宮城県
第三女子
高等学校
宮城県
仙台三桜
高等学校



第 60 号

同窓会事務局
宮城県仙台三桜
高等学校
仙台市太白区門前町9の2
〒982-0845
電話022(248)0158(代)



令和6年6月16日

母校創立100周年記念同窓会総会

同窓会で振り返るあの日の思い出

東原 瑠花 (高校 76 回)

高校を卒業して初めて、同窓会総会に出席しました。同窓会総会では、三女高校時代から今の三桜高校までの歴史を辿ることができました。校舎や制服がどのように変わってきたのかなど、まるで歴史を学んでいるようで面白いと感じました。また、先輩方の学生時代の様子を知ることができ、卒業して数ヶ月しか経っていませんでしたが、学生時代のことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。

私が一番印象に残っている学生時代の思い出は、テスト期間です。もちろん体育祭などの学校行事も楽しかったですが、テスト期間の放課後、友達と残って勉強し合う時間が楽しかったのを覚えています。楽しすぎてテストの結果はあまり良いものではありませんでしたが、こうして今、思い出として残っているのが充実した日々だったと思っています。

今回、同窓会総会に参加して、友達ともっと思い出作りをしてあげばよかったなと思うことがあります。卒業するまでに高校生の頃にしかできない経験をたくさんしてほしいと思いました。

QRコードを作りました！QRコードを読み取って同窓会ホームページを開いてください。
同窓会だよりも読めます。 三女・三桜同窓会 Q でも開けます。





伊達武将隊と76回生

令和六年度同窓会総会は、令和六年六月十六日(日)十時より、母校宮城県仙台三桜高等学校体育館で開催されました。当日は、佐々木英貴校長先生をはじめ、現教職員・恩師の先生方にご列席いただき、同窓生あわせて二百八十三名という多くの方が参加しました。

総会報告



総会は、今年三月に卒業したばかりの高校七十六回生・板橋祥さんの司会で開会しました。協議は、議長の七十八回生・東原瑠花さんの議事進行により、令和五年度会務・決算報告、監査報告、令和六年度会務計画・予算案が承認されました。今年「母校創立百周年」の記念すべき総会なので、母校百周年の歴史をスライドで振り返りました。第三高等女学校中島丁の校舎、第三女子高等学校の校舎、現在の三桜高等学校の校舎や懐かしい先生方の写真には、あちらこちらで歓声や拍手が上がりました。大正十三年から現在まで数多くの困難を乗り越え、今も母校があることに感謝し胸があふくなりました。

百周年の歴史のスライドの次は、賑やかに伊達政宗公率いる伊達武将隊と旅太鼓(丸森町太鼓集団)の登場! 政宗公のお祝いの口上に感激、力強い演奏演舞に

盛り上がりしました。また、金色の扇を手にお揃いのTシャツ姿の演劇部OGの躍動感溢れるすずめダンスは、武将隊との息もぴったりで拍手喝采でした。

次はOG合唱団の合唱です。国内のみならず、海外のコンクールでも数多くの賞を受賞している宮城三女OG合唱団二十九名による合唱を楽しみました。三桜高のOGも一緒に活動しているとの嬉しい紹介もありました。

最後に、会場全員での如春会歌と、門前の地に移転してきた昭和三十二年にできた、現在の校

◆総会次第

1. 開会の辞
2. 物故会員を悼み黙祷
3. 会長挨拶
4. 校長挨拶
5. 来賓紹介
6. 協議 一議長選出一
 - (1)令和5年度会務・決算報告ならびに監査報告
 - (2)令和6年度会務計画・予算案
 - (3)その他
7. 令和7年度当番幹事委嘱
当番幹事：高校28回生、高校45回生、高校63回生、高校76回生、高校77回生
8. アトラクション
 - ・母校100周年の歴史スライド
 - ・伊達武将隊の演舞と旅太鼓(丸森町太鼓集団)の演奏
 - ・宮三女OG合唱団の演奏
9. 如春会歌・校歌斉唱
10. 閉会の辞



校歌終了後、元応援団長十五回生の明石靖子さんのリードで母校と同窓会の益々の発展を祈念してエールを送りました。

最後に、体育館で、参加者全員と伊達武将隊・旅太鼓の皆様と記念写真を撮りました。

多くの皆様と一緒に母校の百周年をお祝いすることができ、大変嬉しい総会でした。最後に、お忙しい中、会場設営等の準備をしてくださった教職員の皆様に感謝申し上げます。

母校創立一〇〇周年を迎えて

会長 五十嵐さとみ



同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年は、母校一〇〇周年記念式典が盛大に執り行われ、多くの来賓の方々、同窓生、教職員、在校生、保護者の方々にご参加いただきました。

二年前より、教職員・PTA・同窓会のメンバーで実行委員会を発足し、準備を進めて参りました。そして一年前より現役の生徒さんたちが母校創立一〇〇周年を自分たちで考えてお祝いしたいと「三桜センチュリオン」というチームができ、一年生から三年生までの三十三名が加わってくれました。現役の高校生が母校の歴史を勉強し、記念事業の事を考えてくれたことを大変嬉しく感激いたしました。そして式典に向けて、ドローン映像を取り入れたオープニング動画・一〇〇周

年のロゴマーク・記念品の選定・桜の木の植樹・三桜検定「おじゅもも」の作成と色々と企画し活動してくれました。

そして当日の式典では、会場案内を担当してくれて頼もしく嬉しい事でした。また、記念誌の中には「三桜センチュリオン」の生徒さんと大先輩の対談もあり、実際にお話を聞くことにより今まで自分たちで調べた母校の歴史がより詳しく身近に学べる良い機会となったようでした。私たちもこの活動を通じて、同窓生の絆を深め、母校への愛着を育むことが出来ました。母校一〇〇周年記念式典では、改めてこれまでの歴史を振り返り、母校の発展を祝うとともに、「遙けき道を常若に」を大切に未来への新たな誓いを立てました。

本年も同窓会の活動を通じて、会員相互の交流を深め、母校発展に貢献して参りたいと思います。皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。そして、何より皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶

校長 佐々木英貴



同窓会の皆様におかれましては、益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、同窓会の皆様方におかれましては、本校の教育にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

今年度本校は創立百周年を迎え、十一月八日に仙台サンブラザにおいて、記念式典を開催いたしました。式典では、三桜センチュリオンという生徒有志が作成した映像作品の上映から始まり、司会進行も生徒が行うなど、三女高、三桜高と受け継がれる良き伝統の力を存分に発揮して、在校生が大活躍してくれました。同窓生の皆様とともに、全員で声高らかに歌った校歌も大変感動的でした。最後は生徒達の希望で、「百年後」という曲を音楽部が合唱して締めくくりました。

また、式典後には東北大学の川島隆太先生に「脳を鍛えて夢をかなえるために」と題したご講演をいただきました。六月十六日に開催された同窓会総会におきましても、母校の百周年を記念して、伊達武将隊による演舞やOG合唱団の

皆様による合唱が披露され、総会後には多くの同窓生の皆様から、たくさんのお祝いの言葉も頂戴いたしました。

年が明けて二月五日には、祝賀行事の締めくくりとして五十嵐同窓会長様にもお越しいただき、三桜会館前にて桜の記念植樹を行いました。その場所には三本桜が揃うことになりましたが、それぞれ「自律・聡明・敬愛」の校訓を象徴する三桜高校のシンボルツリーとして、長く生徒達に親しんでもらえるよう願っています。

さて、生徒の活躍に話題を移すと、部活動においてワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上部、放送部が東北大会に出場。書道部が全国高等学校総合文化祭(2024清流の国ぎふ総文)に出場しました。このように、先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、生徒達は生き生きと学校生活を送っています。

最後になりますが、同窓会の皆様には今年度、校史資料室に机・椅子、制服の展示ケースをご寄贈いただき、学校の歴史を感じながら自学できる環境を整えていただきました。心より感謝申し上げます。

今後とも引き続き、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度同窓会予算

支出の部

科 目	本年度予算額
1 総 会 費	250,000
2 会 議 費	20,000
3 庶 務 費	290,000
4 事 業 費	3,340,000
5 基金積立	200,000
6 予 備 費	129,934
合 計	4,229,934

収入の部

科 目	本年度予算額
1 会 費	1,994,400
2 入 会 金	138,000
3 寄 付 金	276,000
4 繰 越 金	521,534
5 年 会 費	1,300,000
6 雑 収 入	0
合 計	4,229,934



フレ～フレ～ どうそうかい

母校創立100周年記念式典

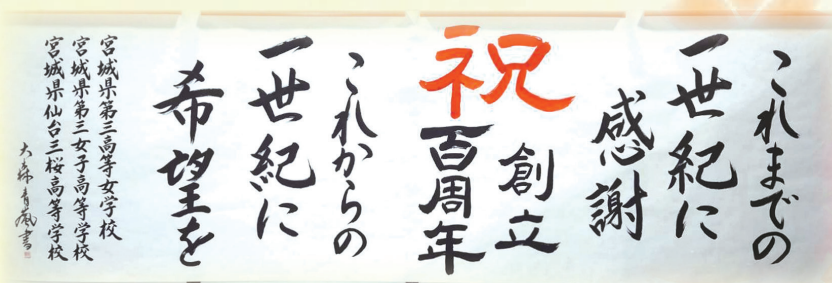
式次第

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 校長式辞
- 4 実行委員長挨拶
- 5 感謝状贈呈
- 6 来賓祝辞
- 7 来賓紹介並びに祝電披露
- 8 生徒代表挨拶
- 9 校歌斉唱
- 10 閉式の辞



令和六年十一月八日(金)午後一時十五分より、仙台サンプラザホールで、宮城県仙台三桜高等学校創立一〇〇周年記念式典が盛大に開催されました。当日は、ご来賓の方に多数ご列席をいただき、佐々木英貴校長先生をはじめ現教職員、在校生、旧職員、同窓生、PTAの方々に参加しました。また、記念講演として、東北大学加齢医学研

究所 川島隆太教授をお招きし、「脳を鍛えて夢をかなえるために」というお話をしていただき、記念式典の一切が終了しました。記念式典終了後、ホテルサンプラザで同窓会主催「母校創立一〇〇年を祝う懇親会」を行いました。現教職員・恩師・PTA・同窓生が参加し、和やかに母校の一〇〇歳をお祝いしました。



記念式典にて

大塚富喜子 (高校 21 回)

令和六年は、私にとって懐かしくあの素敵な三女高の校歌を、三回も聴けた嬉しい年になりました。特に深く印象に残った場面があります。それは、十一月八日に仙台サンプラザホールで開催された、仙台三桜高校創立百周年記念式典に、同窓生として参加させていただいた時です。母校が歩んできた長い百年の歴史を、改めて深く感じながら男女の在校生の皆さんと一緒に、会場でこの校歌を歌いました。卒業して半世紀以上も過ぎた私には、この場面は何とも言えない、初めての新鮮な感覚でした。また、校訓の自律・聡明・敬愛の言葉を改めて思い起こし、とてもさわやかな気持ちになりました。まさに、三桜高校の新しい時代の流れを感じたひとときでした。帰り道、自然に軽やかなおもちになり、「青雲遠き 宮城野を……」と、つい小声で校歌を歌いながら、仙台駅に向かって歩いていった私でした。



参加された恩師の先生方

第8回

三女・三桜同窓会文化祭



令和6年10月6日(日)東北電力グリーンプラザ・アクアホールで、同窓会文化祭を開催しました。

今回は母校創立100周年記念文化祭として、学校の歴史を振り返る写真や制服の展示などを行いました。発表のオープニングは演劇OGのすずめダンス。金色の扇で華やかに舞って、次のOG合唱団へバトンタッチ。ハーモニカ演奏やオペラ、落語、寸劇の披露など、同窓生だけではなく市民のみなさんと一緒に楽しみました。

文化祭に参加して

千石 董(高校68回)

初めて同窓会文化祭に参加しましたが、卒業して年月が経ってもこうして集まって作品を発表し合えることはとても素敵だなと思いました。今回は元演劇部の仲間たちと、6月の総会で伊達武将隊と共演したすずめダンスが好評だったので、文化祭オープニングでもすずめダンスを踊り、高校から続けている演劇、最近挑戦している落語も披露しました。それぞれ働いたり学校に行ったりしながら、限られた練習期間でしたが、会場の皆さんもあたたかく盛り上げてくださり、楽しく演じることができました！



恩 師 か ら の メ ッ セ ー ジ

嬉しい再会

守屋佳代子

創立百年の年に私たち27回生は総会の当番幹事となり、懐かしい級友と卒業以来の再会をすることができました。私は受付の係でしたが思いがけず多くの同僚の先生方や卒業生と再会し、懐かしい日々が思い出されました。いつまでも「同窓会に行ってみよう」と思われる学校であってほしいと思いました。私は三女を卒業後家庭科教員となり、平成三年から八年間母校に在職しました。

恩師や同窓会の先輩方に見守られながらの教員生活でした。生徒たちは自由闊達、個性豊かに高校生活を楽しんでいて私の高校時代を見ていたようでした。懐かしく思い出深い八年間で、三女を含め五校で勤務し三十七年間の教員生活を終えた後、四年間三桜高校で講師として共学校の母校も体感しました。また校舎新築のため三女の象徴である桜の木が伐採されていますが、校庭の奥にあったソメイヨシノは大木となり、今は三桜生を迎えています。

現在の私は母の介護をしながら好きな手芸を楽しんでいます。以前は洋服も作り「自作よ」と生徒たちに自慢していましたが、もう洋服はできなくなりました。

私も高齢者となり、友人や同僚の先生方と会う機会も少なくなりましたが、食事会や小旅行に出かけたりしてお付き合いが続いています。なかなか会えない三女の友人たちとも食事会をきっかけにLINEグループを作り、連絡を取り合うようになりました。高校時代と変わらず、それぞれ自分らしく生活しています。人生も百年時代。元気で過ごしたいものです。老後は長いから。



27回生とともに…守屋先生は右から3人目

令和 7 年度支部総会のご案内

支 部	日 時	会 場	問い合わせ先	TEL
北海道	7 月 13 日 (日)	プレミアムホテル中島公園 札幌「和乃八窓庵」	島田満里子	011-591-7937
関 東	7 月 5 日 (土)	「きゅりあん」大井町	山之井玲子	090-9379-8099
関 西	6 月 1 日 (日)	「がんこ高瀬川二条苑」京都市	林 敏子	090-5973-5912
九 州	5 月 11 日 (日)	西鉄グランドホテル「松風」	大塚あおい	0942-36-1455

全国のみなさん！ぜひいらしてください。
お待ちしております！

支 部 だ よ り

北海道支部「リラの会」

支部長 島田満里子 (高校 23 回)

七月二十一日、四年ぶりにリラの会総会を開催しました。十二名が集いました。今回は遠方からふたり、ひとりには仙台から、もうひとり道東の紋別からかけつけられました。ひと通りの総会次第を終え、食事をしながらの懇談は、皆さん四年分の出来事を話され、コロナ禍で色々な思いをされたのだなあと聞き入りました。さすが元三女高生はパワフルです。各方面で活躍され、頼もしい一言です。

リラの会総会は今回で二十九回目を迎え、発足から三十三年です。当時若かった方々も高齢者となり、新しいメンバーでは若返りが出来ぬまま、今に至ります。それ故に役員の仕事の見直しで、負担の軽減を思案中です。

身軽になつたリラの会は、例年七月に総会を予定しております。三女高、仙台三桜高卒業の皆さま、集ってともに語り合いましょう。



関東支部「萩の会」

林 理香 (高校 36 回)

同窓会に接して

初めて関東支部「萩の会」に出席したのは、平成二十六年でした。卒業後、入社した会社の先輩でもある現支部長からの誘いがきっかけでした。当日、緊張しながら西麻布の会場へ向かいました。参加者は二十数名。静かな雰囲気で時間が流れると思っておりましたが、総会後の会食では、パワーあふれる先輩方が会を盛り上げてくださり、笑顔あふれる楽しい時間があったという間に過ぎました。世代を越えた三女高生の熱いつながりを体感した一日でした。ああ、三女高生で良かったなあと心から思えた日。元気をいただいて帰りました。

そして翌年から萩の会に携わり今に至ります。以前のように恩師の方々をお呼びしたり、大きな会場での開催が難しくなりましたが、皆様に楽しんでいただけるよう、役員で知恵をしぼって考えております。どうぞ関東にお住まいの皆様、一度足を運んで下さい。お待ちしております。



九州支部「青葉の会」

大塚あおい (高校 29 回)

お元気でしたか？

令和六年五月十二日、コロナの影響で開くことができなかった「青葉の会」をやっと開くことができました。久しぶりにお会いでき皆さんお元気で何よりと思ったのと同時に今年集まったのは四人！それぞれのご事情で参加できないとのことのお返事でしたが、青葉の会は存続できるのか？一抹の不安が残りました。ただ、四人の会でしたがお話は尽きず、会食の後も場所をかえて時間が許すかぎり楽しい時を過ごすことができました。青葉の会は福岡県にお住いの方が一番多いため福岡市内で行っています。そのためか他の県の方の参加が少ないのも課題だと思います。毎回少人数の会ではありますが、続けていくことが大事だと本部からの励ましもあり三十四回目も開く予定です。桜並木、校歌、制服、部活、先生方、共通話題たくさんありますよ。



— 母校の近況 —

百周年を振り返って

三年 新海 玲奈

「私たちが在校生も、三桜の百周年を盛り上げたい」という思いから、昨年度の十一月に三桜センチュリオンが結成されました。メンバーは計三十三名で、活動はロゴマーク作成班、アピール班、記念品作成班、イベント班の四つの班に分かれて行われました。



て、各イベントの宣伝や新メンバーの勧誘、式典当日までのカウントダウンボードの作成といった百周年を校内にアピールする活動に取り組みました。中でもやりがいがあったのは、十一月八日に行われた記念式典のオープニング映像の制作です。高女から続く百年の歴史と、次の百年への私たちの想いを伝えるにはどうしたらよいかを、メンバーで何度も集まって考えました。「歴史」は、誰もが知る名曲で盛り上げながらスライドショー形式で、「想い」は、一人一人の言葉を大切にしながらインタビュー形式で制作することになりました。「歴史」パートの資料集

めは本当に大変で、『八十年のあゆみ』を参照しながら、一日に十数冊の卒業アルバムを開いては対応する写真を探していました。その過程で、今はもうない部活動や委員会、伝統があったことを知り、同窓生の皆様から受け継ぐことのできたものの重みを実感していました。式典当日、完成した映像が流れたときはとても緊張していましたが、皆様に楽しんでいただけたようで安心しました。約一年の活動を通して、三桜センチュリオンは三桜の百周年を盛り上げることができました。これからは、母校を想う同窓生として、三桜に貢献していきたいと思っています。

ワンダーフォーゲル部

三年 鎌田 紗綺

私たちワンダーフォーゲル部は山登り以外にも、スキー、GWや夏休みの合宿、芋煮会など様々な活動をしています。人数の多い部活ですが、学年の壁を越えてのコミュニケーションがよく行われ、部員同士とても仲が良いのが特徴です。

三年生となり引退を意識し始めると、一つ一つの活動がより大切に思えてきました。今回は私たち三年生の最後の冬山合宿についてご紹介したいと思います。

本来ならスキーを楽しむ予定でしたが、スキー場はどこも雪不足のため急遽登山へと切り替えました。冬

山は厳しい寒さを凌ぎながらだけではなく、多く積もった雪の上を歩かなければなりません。そこで「わかんじき」という装備を装着するのですが、この道具の使い方を先輩に指導している際、私も先輩に指導していただいたことを思い出しました。こうして次の世代へと引き継がれるのだなと実感するとともに、長く続くこの部の一端を担えたのだという誇らしい気持ちにもなりました。小屋の中では、部員たちで協力して食事を作り、夜



は山の話を語り合いました。これまでの大会や遠征を振り返ると、苦しいこともありました。それ以上に楽しい思い出ばかりが浮かんできました。部員同士の絆の深さを改めて実感し、この時間がいつまでも続いてほしいとさえ思いました。

この部活で活動できたことは私にとってかけがえのない財産となりました。これからの後輩たちにもワンダーフォーゲル部の伝統と仲間との絆を大切にしながら活動を続けていってほしいです。

桜の植樹

令和七年二月五日、雪が舞う寒い日でしたが桜を植樹しました。これで校舎前に三本の桜が揃いました。まさに三桜です。



支部連絡先

九州支部 石田れい子 (高校16回)
関西支部 林 敏子 (高校19回)
関東支部 山之井玲子 (高校30回)
北海道支部 島田満里子 (高校23回)

〒811 3116 福岡県古賀市庄一五一―二
〒602 0058 京都市上京区上立売通小川西入下ル水落町九三
〒253 0085 茅ヶ崎市矢畑七八二―三二二
〒061 2285 札幌市南区藤野五条一―七二

〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二

〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二
〒090 0000 仙台市青葉区中央一―二

編集委員

事務局 藤生 典子
副会長 伊藤 知子
鈴木 幸子
江戸三知子
境 近子

発行所

創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町 八―三四
〒011-1111-0111

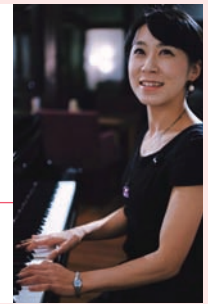
令和7年度同窓会総会のご案内

日時 令和7年6月15日(日) 午前10時より12時まで
会場 仙台三桜高等学校
会費 1,000円(記念品:同窓会名入り1000円のクオカード他)
アトラクション 三桜センチュリオン作成 100周年記念映像紹介
独 唱 中澤 香織(高校47回)
ピアノ伴奏 及川久美子(高校54回)
申込み 令和7年6月5日(木)まで 同封の青色の振込用紙でお願いします。
○駐車場はありませんので、学生時代と同じように公共の交通機関でおいでください。
○当番幹事は高校28回生・45回生・63回生・76回生・77回生のみなさんです。



中澤香織さんプロフィール

仙台オペラを楽しむ会代表。
イタリアで発声法やオペラ演奏を学び多数のオペラに出演。
合唱指導やヴォイストレーナーとしても活躍。



及川久美子さんプロフィール

文化芸術団体 虹のさかなプロダクション代表。
演奏活動、さまざまな音楽プログラムを通して教育、福祉、
文化芸術が社会と人々を繋げる活動を展開している。

100周年記念誌〈遙けき道を常若に〉をお譲りします

母校創立100周年を記念して、三桜高校の記念事業記念誌部会が作成しました。
30代から80代までの同窓生が集まって思い出を語った座談会「今伝えたい 高女から三女、そして三桜へと繋がる歴史」なども掲載されています。たくさんの写真とともに懐かしい母校の思い出を振り返ってみませんか。
お申し込みは青色の振込用紙でお願いします。6月5日までお申し込みください。レターパックでお届けします。

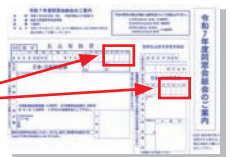


同封の青色の振込用紙に金額を記入してお振込みください。

お申込みは
青色の
振込用紙で

- ①同窓会総会に参加 (1,000円)
- ②100周年記念誌を希望 (500円)
- ③同窓会総会に参加 & 100周年記念誌を希望 (1,500円)

こちらに
ご記入下さい



編集後記

同窓会だより第60号をお届けします。
今年度は母校創立100周年記念祝賀行事が行われました。次の100年へ向けて新たな一歩を歩めるよう、同窓会も応援していきたいと思ひます。
今後ともご協力をよろしくお願い致します。



同窓会年会費のお願い

年会費は同窓会活動の運営費のほか、「同窓会だより」の郵送料にも使わせていただきます。
今年は校史資料室に机・椅子・制服の展示ケースを寄贈など在校生への支援もさせていただいています。
同封の赤色の振込用紙で、1人2,000円のご協力をお願いいたします。総会当日もお預かりいたします。

